

登録コード	TSL15600	開講年度	2026				
授業科目	計算構造力学特別実験					担当教員	小山 茂
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Computational Structural Mechanics					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	水環境・土木工学分野1年生～2年生
講義室			授業形態	実験	備考	計算構造力学を履修していること	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力				・講義と演習に関連する数値実験を通して, 高度な研究遂行能力の基礎を身につけることができるようになる.		
(2)授業の概要	研究課題または講義(計算構造力学)・演習(計算構造力学演習)に関して選定したテーマについて, これまでに得た知識を元にプログラムを作成し数値実験を行う. 得られた結果について整理・検証・考察を行い, プレゼンテーションを通して他者にわかりやすく説明する.						
(3)授業計画	第1回(前期10時間分) ガイダンス, 計算構造力学に関するテーマ選定 第2回(前期20時間分) プログラム作成 第3回(前期20時間分) 数値実験 第4回(前期10時間分) 結果整理・検証・考察 第5回(前期10時間分) プレゼンテーション, 討論 第6回(前期10時間分) ガイダンス, 研究課題に関するテーマ選定 第7回(前期30時間分) プログラム作成 第8回(前期20時間分) 数値実験 第9回(前期20時間分) 結果整理・検証・考察 第10回(前期10時間分) プレゼンテーション, 討論						
(4)成績評価の方法	成果について総合的に判断し, 90点以上を秀, 80点以上を優, 70点以上を良, 60点以上を可, 59点以上を不可とする.						
(5)成績評価の基準	90点以上: 「水準からみて卓越している」とみなし, 秀 80点～89点: 「水準よりかなり上にある」とみなし, 優 70点～79点: 「水準よりやや上にある」とみなし, 良 60点～69点: 「水準にある」とみなし, 可, 50～59点: 「水準よりやや下にある」とみなし, 不可(D) 49点以下: 「水準にない」とみなし, 不可(F)						
(6)事前事後学習の内容	事前準備について ・選定した資料を十分に理解し, 分かりやすいプレゼンテーションできるよう準備すること 事後について ・討議において明らかとなった問題点を整理し, それに対する解答をレポートとしてまとめること						
(7)履修上の注意	計算構造力学を履修していない場合は受講を認めない.						
(8)質問,相談への対応	随時						
(9)その他							
【教科書】	指定しない.						
【参考書】	指定しない.						